

北九州市の環境国際協力・ビジネスについて PR漫画を制作しました！

北九州市は、これまでの公害克服の経験を活かし、東南アジアを中心に、大気汚染問題や廃棄物問題などの環境課題解決に向けた支援を行ってきました。

このたび、本市の環境国際協力・ビジネスをよりよく理解いただくために、環境姉妹都市であるインドネシア・スラバヤ市の事例をもとにした漫画冊子「私たちの未来」を制作しました。

この漫画にあるスラバヤ市での取組は、SDGsの17のゴールのうち、「17（パートナーシップで目標を達成しよう）」をはじめとした多くのゴールに関わるものです。

多くの市民の皆さんに、この漫画を楽しんで頂き、本市の環境国際協力・ビジネスへの理解が深まることを期待しています。



タイトル：漫画でわかる!! 私たちの未来～北九州市の環境国際協力・ビジネス～
スラバヤで花開く「夢」（あらすじは別紙を参照のこと）

制作冊数：3,000部（A5版 26ページ）

掲載場所：アジア低炭素化センターHP（<https://asiangreencamp.net/>）

配布場所：市内の区役所、環境ミュージアム、北九州エコタウンセンター

【お問い合わせ先】

環境局環境国際戦略課

担当：酒井（課長）、永江（係長）

TEL：093-662-4020 FAX：093-662-4021

【参考情報：あらすじ】

インドネシア・スラバヤ市に住む主人公の少年、アビは、父親のアントンとともに、ごみ捨て場から金属や缶・びん等の有価物を非正規に回収して生計を立てるウェイトピッカーとして貧しい生活を送っていた。

ある日、スラバヤ市の廃棄物管理の課題を解決するために、北九州市とその市内企業である（株）西原商事がごみ捨て場にやってくる。廃棄物分別工場を建設するという話を聞かされ、ウェイトピッカー達に動揺が広がるも、アントンが中心となって調査や説明会に協力し、廃棄物分別工場が建設されることになった。

廃棄物分別工場が完成すると、ウェイトピッカー達は工場の職員として働けることになり、工場長にはアントンが就任した。アントン家族は安定した収入を得ることができるようになり、アビは学校に通うことができるようになった。

人生が大きく変わったアビは、将来は北九州市で環境について学び、インドネシアのために働くことを夢みる青年へと成長していった。